



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所

上場取引所 東

コード番号 6125 URL <https://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 常路

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

四半期報告書提出予定日 2022年11月8日

配当支払開始予定日

2022年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,382	30.2	2,662	79.5	2,701	69.2	1,878	59.3
2022年3月期第2四半期	17,190		1,483		1,596		1,178	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,782百万円 (190.9%) 2022年3月期第2四半期 956百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	410.51	409.54
2022年3月期第2四半期	294.59	293.57

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	51,885	22,951	44.2
2022年3月期	47,507	20,331	42.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 22,944百万円 2022年3月期 20,321百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		60.00		80.00	140.00
2023年3月期		80.00			
2023年3月期(予想)				80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	14.5	4,800	17.6	4,700	12.0	3,200	10.6	704.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	4,717,895 株	2022年3月期	4,717,895 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	123,881 株	2022年3月期	172,680 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	4,574,896 株	2022年3月期2Q	4,000,904 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10
3. 補足情報 .....	10
受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、各国において新型コロナウイルス感染症からの行動制限緩和による経済活動の正常化が進む一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の高騰や、中国での「ゼロコロナ政策」の影響がサプライチェーンに混乱を与えたことなどにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

わが国経済におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響が残るなか、経済活動は正常化に向けた動きがあるものの、円安による為替相場の変動や原材料価格の高騰に伴う物価の上昇が続き、個人消費の停滞が懸念されるなど景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況の中で当社グループは、今期を初年度とする新中期経営計画「“創” lution 2025 GRIT & Adjust」を策定し、工作機械事業の構造改革、研削ソリューション企業への変革を重点戦略として業績向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は22,382百万円（前年同期比30.2%増）、営業利益は2,662百万円（前年同期比79.5%増）、経常利益は2,701百万円（前年同期比69.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,878百万円（前年同期比59.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①工作機械

国内市場におきましては、好調な半導体業界や設備補助金などの経済政策の効果で工作機械需要は引き続き高まっております。受注につきましては、工作機械業界、金型業界向けの大型平面研削盤や汎用平面研削盤、半導体業界向けのロータリー研削盤などを中心として好調に推移しております。売上につきましても、半導体業界や金型業界向けに大型平面研削盤の販売があり、前年同期を上回りました。

海外市場におきましては、米国では金型業界、セラミックス業界向けの需要が引き続き増加しております。受注は前年好調であった鋳物の受注が低迷したため前年同期を下回ったものの、売上につきましては堅調に推移しております。欧州では地政学リスクの影響に伴う先行きへの不安感から受注が減速傾向ではありますが、売上は半導体関連やEV車関連を中心に増加しております。中国では行動制限の緩和に伴う活発な設備投資の流れに支えられ、EV車関連で大型平面研削盤の需要が高まるなど、受注・売上ともに前年同期を上回っております。東南アジアにおいても、行動制限緩和により経済活動は回復傾向にあり、受注、売上共に前年同期を上回ることができました。

以上の結果、売上高は14,939百万円（前年同期比28.8%増）、セグメント利益（営業利益）は986百万円（前年同期比118.1%増）となりました。

#### ②半導体関連装置

半導体市場におきましては、スマートフォンやパソコン、データセンター関連向けの半導体デバイスの需要は継続しているものの、一部では減速の兆しもみられており、今後の市況の変化に注意が必要な状況となっております。

このような状況の中で当社グループは、ポリッシュ装置やラップ盤の拡販に向けて、ウェーハ業界向けの次世代機種の開発やカスタマーサポート体制の強化などの諸施策を進めてまいりました。その結果、受注につきましては、半導体業界の設備投資需要が継続したことにより、国内、東アジアの複数の取引先から半導体製造装置の受注を獲得いたしました。売上につきましても、継続する半導体需要が寄与し、国内と東アジア、欧州向けにウェーハ生産用のファイナルポリッシャーや液晶用ガラスマスク加工装置の販売をするなど、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は7,443百万円（前年同期比33.2%増）、セグメント利益（営業利益）は2,218百万円（前年同期比47.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して4,377百万円増加し、51,885百万円となりました。主な要因は、有価証券が1,000百万円、棚卸資産が2,649百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して1,757百万円増加し、28,934百万円となりました。主な要因は、電子記録債務が417百万円、短期借入金が911百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して2,619百万円増加し、22,951百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,878百万円、配当金の支払い363百万円により1,514百万円増加したこと、及び為替換算調整勘定が922百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の42.8%から44.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1,497百万円増加し、13,514百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2,378百万円（前年同期は8,363百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,701百万円により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,312百万円（前年同期は270百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,247百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、107百万円（前年同期は4,815百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出331百万円及び配当金の支払いによる支出362百万円により資金が減少した一方で、短期借入金の純増加額819百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2022年5月12日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,333	7,853
受取手形、売掛金及び契約資産	8,114	7,482
有価証券	5,000	6,000
商品及び製品	4,553	4,731
仕掛品	6,331	8,092
原材料及び貯蔵品	3,418	4,128
その他	723	448
貸倒引当金	△131	△153
流動資産合計	35,343	38,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,454	3,750
機械装置及び運搬具（純額）	2,846	2,902
その他（純額）	3,878	4,555
有形固定資産合計	10,179	11,207
無形固定資産	158	236
投資その他の資産		
投資有価証券	255	250
退職給付に係る資産	980	1,014
その他	608	609
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	1,826	1,857
固定資産合計	12,164	13,301
資産合計	47,507	51,885
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,552	3,629
電子記録債務	2,893	3,311
短期借入金	3,040	3,951
1年内償還予定の社債	6	12
1年内返済予定の長期借入金	512	652
未払法人税等	687	921
契約負債	11,183	11,200
賞与引当金	481	658
製品保証引当金	45	45
その他	2,090	2,487
流動負債合計	24,493	26,869
固定負債		
社債	24	18
長期借入金	765	294
退職給付に係る負債	965	1,001
資産除去債務	119	119
その他	809	632
固定負債合計	2,683	2,065
負債合計	27,176	28,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
資本剰余金	140	134
利益剰余金	15,321	16,835
自己株式	△743	△533
株主資本合計	19,598	21,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	△0
為替換算調整勘定	436	1,359
退職給付に係る調整累計額	282	268
その他の包括利益累計額合計	723	1,627
新株予約権	9	6
純資産合計	20,331	22,951
負債純資産合計	47,507	51,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	17,190	22,382
売上原価	12,046	15,304
売上総利益	5,144	7,078
販売費及び一般管理費	3,660	4,415
営業利益	1,483	2,662
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	1	2
助成金収入	11	6
物品売却益	25	33
為替差益	127	95
その他	26	16
営業外収益合計	195	160
営業外費用		
支払利息	53	42
支払手数料	12	9
控除対象外消費税等	—	25
その他	16	45
営業外費用合計	82	122
経常利益	1,596	2,701
税金等調整前四半期純利益	1,596	2,701
法人税等	418	823
四半期純利益	1,178	1,878
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,178	1,878

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,178	1,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△4
為替換算調整勘定	△209	922
退職給付に係る調整額	△11	△13
その他の包括利益合計	△222	904
四半期包括利益	956	2,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	956	2,782

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,596	2,701
減価償却費	667	744
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	22
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△53	△53
賞与引当金の増減額 (△は減少)	142	167
受取利息及び受取配当金	△4	△8
助成金収入	△11	△6
支払利息	53	42
支払手数料	12	9
為替差損益 (△は益)	△113	△33
売上債権の増減額 (△は増加)	1,156	884
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,077	△2,245
その他の資産の増減額 (△は増加)	△6	321
仕入債務の増減額 (△は減少)	999	428
契約負債の増減額 (△は減少)	5,549	△75
その他の負債の増減額 (△は減少)	△321	173
その他	△19	△0
小計	8,583	3,071
利息及び配当金の受取額	4	8
利息の支払額	△53	△41
助成金の受取額	11	6
法人税等の支払額	△183	△666
法人税等の還付額	2	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,363	2,378
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△8	△7
有形固定資産の取得による支出	△286	△1,247
その他	24	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270	△1,312
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,086	819
長期借入金の返済による支出	△1,357	△331
リース債務の返済による支出	△197	△202
自己株式の取得による支出	△5	△2
手数料の支払による支出	△12	△9
配当金の支払額	△198	△362
新株予約権の発行による収入	42	—
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	203
その他	△0	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,815	107
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	324
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,250	1,497
現金及び現金同等物の期首残高	4,778	12,016
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,028	13,514

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,601	5,588	17,190	—	17,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,601	5,588	17,190	—	17,190
セグメント利益	452	1,508	1,960	△477	1,483

(注) 1. セグメント利益の調整額△477百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,939	7,443	22,382	—	22,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,939	7,443	22,382	—	22,382
セグメント利益	986	2,218	3,205	△542	2,662

(注) 1. セグメント利益の調整額△542百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使による自己株式の処分)

2021年9月10日開催の取締役会決議に基づき、2021年9月27日に発行した第三者割当による行使価額修正条項付第1回新株予約権の一部について、2022年10月1日から2022年11月4日までの間に、以下の通り行使され自己株式の処分が行われております。

(1) 行使新株予約権の数	849個
(2) 処分した自己株式数	84,900株
(3) 行使価額の総額	365百万円

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	18,031	110.4	20,504	145.7
半導体関連装置	9,118	45.8	35,892	131.5
合計	27,150	74.9	56,397	136.4

(2) 販売実績

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	14,939	128.8
半導体関連装置	7,443	133.2
合計	22,382	130.2